

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
総合看護演習	NSP43_003	必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子 他	415	t.ishino	金曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	講義・演習・実習で学んだ知識や学習態度および到達すべき援助技術を身につけているか否かを学生が自己評価し、適切なアセスメント、看護ケアを提供できる能力を養い、看護実践能力を向上させる。生涯自己研鑽を続ける必要性を再認識し、根拠に基づく看護の実践を目指す姿勢を養う。授業は関連する内容について演習および同時双方向型授業による遠隔授業で行う。				
学習上の助言	演習には積極的に取り組むことを期待する。演習では各領域から課される様々な学習課題に前向きに取り組む、自己の知識と援助技術の向上に努めること。また試験ではいままでの実習や座学において獲得した知識の到達状況を確認するため、事前に復習をしっかりと行う。				
教科書	各領域において提示された書籍など。				
参考書	各領域において提示された書籍など。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	自己課題を明確にすることができる。		NS(1)~(5)		
②	自己課題に基づいて学習を進めることができる。		NS(1)~(5)		
③	各領域の特徴に基づいた状況について適切なアセスメントができる。		NS(1)~(5)		
④	状況に即した看護実践ができる。		NS(1)~(5)		
⑤	看護に必要な知識と技術を身につけることができる。		NS(1)~(5)		
⑥	今後の自己課題を述べるることができる。		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	ガイダンス 基礎看護学	同時双方向型授業	提示する事前課題を実施する。	1.0	
2	知識技術の再確認 基礎看護学	演習	領域により事前に課題を提示することがあるので、課題に基づき予習を行って臨む。  知識や技術について到達度を確認し、学習を進める。	1.0	
3	基礎看護学	演習		1.0	
4	知識技術の再確認 成人看護学(急性期・慢性期)	演習		1.0	
5	成人看護学(急性期・慢性期)	演習		1.0	
6	知識技術の再確認 老年看護学	演習		1.0	
7	老年看護学	演習		1.0	
8	知識技術の再確認 小児・母性看護学	同時双方向型授業		1.0	
9	小児・母性看護学	演習		1.0	
10	小児・母性看護学	演習		1.0	
11	知識技術の再確認 精神看護学	同時双方向型授業		1.0	
12	精神看護学	同時双方向型授業		1.0	
13	知識技術の再確認 在宅・公衆衛生看護学	同時双方向型授業		1.0	
14	在宅・公衆衛生看護学	同時双方向型授業		1.0	
15	今後の自己課題の明確化(課題レポート)	同時双方向型授業		1.0	
試					

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	5	15	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
問題を発見・解決する力		5	5	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験の内容としては、卒業までに到達すべき知識を身につけているか否かを再確認するため、各領域における知識技術に関することを問う。	必要に応じて結果のフィードバックと解説をおこなう。			
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	各領域の講義を受けた上で、自己の課題についてレポートの提出を求める。課題レポートを総合評価点とする。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎石野徳子 望月宗一郎 溝口孝美 小林美雪 森川三郎 山田真衣 佐野宏一郎 田中深雪 堀口まり子 渡邊美樹 伊丹幸子 吉岡睦世 山崎さやか  ・科目を担当する教員は臨床および教育に関する豊富な経験を有している。これまでに培った経験を伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫しながら講義を展開する。  ・各領域が原則2コマずつを担当し、各領域に於いて必要と考えられる知識技術の内容について指導する。  ・Teamsを使用した同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のwifi環境を推奨します。課題ダウンロードや画像視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意して下さい。  ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業に参加を認めません。  ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。							